



# ADRC Highlights

Vol.109

Asian Disaster Reduction Center Biweekly News

February 1, 2005

## ➤ 国連防災世界会議が成功裏に終了

2005年1月18日から22日まで5日間、160ヶ国以上の参加のもと、兵庫県神戸市で開催されていた国連防災世界会議は、最終日の22日、災害早期警戒システムの構築など今後10年間に取り組むべき5つの優先分野をまとめた「兵庫行動枠組」などを採択して、閉幕しました。

行動枠組は、2015年までに 防災の統治力、災害リスクの特定と早期警戒、防災教育、災害リスクの軽減、復旧への備えの分野において、それぞれ取り組み目標を明示しました。

アジア防災センター(ADRC)では、この国連会議の開催に併せて、プレシンポジウムやパブリックフォーラムの開催、総合防災展の参加等、数々の事業を行いました。なお、「兵庫行動枠組」など同会議における日本語仮訳については、<http://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/kankyo/kikan/wcdr.html>までご覧ください。

## ➤ 「アジア地域における総合防災政策と防災優良事例フォーラム」が開催、210名超が参加

アジア防災センター(ADRC)は、アジア防災会議2005実行委員会(兵庫県、UN/OCHA神戸、ADRC)との共催により、「アジア地域における総合防災政策と防災優良事例フォーラム～より安全な世界へ向けて、経験から共に学ぶ～」を2005年1月19日、神戸国際会議場301号室(神戸ポートピアランド内)にて開催し、国内外から210名を超える参加者がありました。

これは、国連防災世界会議のパブリックフォーラムとして開催したもので、アジア地域における災害リスクや脆弱性を軽減する方策について、アジア5カ国(バングラデシュ、フィリピン、ラオス、中国、タジキスタン)の防災優良事例を紹介しながら議論を進めました。

バングラデシュ防災担当大臣チャウドリ・カマル・イブネ・ユースフ氏は、包括的災害管理計画(CDMP)とサイクロン予防計画(CPP)の2つの優良事例を紹介し、前者は、リスク管理の考え方を政府の主要な任務として捉えることによって防災知識の保存・共有・活用につながることで、後者は、1970年に30万人、1991年に13万8千人もの死者をもたらしたサイクロンに対して行った早期警戒に関する活動(警報伝達、救援活動、コミュニティレベルでの訓練、無線による気象情報提供)を行ったことによって、1999年の発生時には107人の死者を出さず留まったことについて述べました。

当日は、この防災優良事例の発表の他に、スマトラ島沖地震と津波に関する緊急報告も行われまし

た。発表者のインドネシア政府防災担当トリウトモ局長は、今回の災害により、大規模災害に対する国際社会の協力・連携の必要性や長期的な災害予防の重要性について再認識したと述べました。

また、このフォーラムの前半部分で、国連教育科学文化機関(UNESCO)松浦事務局長と当センター伊藤センター長による、国際防災での協力関係推進を謳った協定書の締結式を行いました。同協定は、研究成果や関連情報の交換・共有や調査研究の協力など5項目にわたっており、当



センターとしても両機関が住民啓発や防災教育、防災に関する科学的知見などにおいて、より一層連携を深めていく所存です。なお、この件についてのお問合せは、当センター研究員の河内([kochi@adrc.or.jp](mailto:kochi@adrc.or.jp))まで願います。

## ➤ 「国連防災世界会議プレシンポジウム～みんなで考える 明日の防災～」が開催

上記のパブリックフォーラムに先立ち、当センターでは、内閣府、国連国際防災戦略(ISDR)事務局、国連大学、アジア防災会議2005実行委員会(兵庫県、UN/OCHA神戸、ADRC)との共催により、「国連防災世界会議プレシンポジウム～みんなで考える 明日の防災～」を2005年1月17日に開催し、防災関係者や防災に関心のある方など約600名が参加しました。

本シンポジウムは、基調講演やパネルディスカッションなどから構成され、「防災とガバナンス」と題して行われた、独立行政法人国際協力機構(JICA)理事長 緒方貞子氏による講演では、国や地方自治体、コミュニティ等の様々な主体が協力した体系的な行政システムの構築が重要であると述べました。

この他、スリランカの女性・社会福祉省スメダ・ジャヤセナ大臣やバングラデシュのユースフ防災担当大臣による講演も行われました。一方のパネルディスカッションでは、防災能力の向上や関係機関との連携などのテーマについて、活発な議論が交わされました。この件についてのお問合せは、研究員の中村([nakamura@adrc.or.jp](mailto:nakamura@adrc.or.jp))まで願います。



If you have comments or requests for this Newsletter, please write to ADRC at the address on the right.

Published by : Asian Disaster Reduction Center (ADRC)  
Hitomiraikan 1-5-2-5F, WAKIHAMAKAIGAN-DORI, CHUO-KU, KOBE  
651-0073, JAPAN E-mail: [editor@adrc.or.jp](mailto:editor@adrc.or.jp) Phone:+81-78-262-5540